

無限の発展要素が

議長 大関住男

牧之原市が誕生して、早くも三カ月が経過しました。今回、議長に就任させて頂きましたが、もとより浅学非才な者です。市民の皆様方のお力添えを頂きながら、全身全霊を傾けて、市発展のために頑張っていきたいと思えます。

牧之原市は諸課題を抱えながらも、平成二十一年には静岡空港も開港予定で、空の玄関として、内外から多くのお客様が訪れる事でしょう。また、御前崎港も着々と整備され、空港と港を結ぶ道路も素晴らしいものになると思えます。

この様な交通網の整備が進めば、牧之原市の将来には明るい展望が予想されます。また、今度の合併でのメリットを生かして、近い将来、次の合併も視野に入れ、模索をしていかなければなりません。

私共議員全員は、市発展のために頑張る所存ですので、よろしくお願いたします。

幸せ実現に向けて

副議長 増田 仁

この度、副議長の職を拝命し、責務の重さを痛感しています。

議場の秩序保持・議事整理など議長の補佐役として努めて参ります。

さて、これからの牧之原市もさらに厳しい少子高齢社会になります。安心・安全な生活が出来る為の環境整備など、あらゆる面で市民の幸せを実現するには、どうしたらよいか深く協議します。

また、近年国や地方も公設の施設を民営へと移行して行く方策がとられています。無駄なもの、利益に寄与しないものは省いていき、行政の役割を極力小さくするという考え方が果たしてよいものか。その過程で大事なものを見落していないだろうか、中身を真剣に議論する必要がありますと思えます。

旧両町の独自性を尊重しながら融和をはかり、新市発展のため、副議長としての責務を全うする覚悟です。

